

おでかけだより

夏号 NO. 42

平成26年7月1日

発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

おでかけサービスの活動実績について

新しい年度を迎えて早くも3カ月が経過しました。おでかけサービスご利用者のみなさま、及び賛助会員のみなさまには如何お過ごしでしょうか。以下に、おでかけサービスのこれまでの活動実績を、要点のみではありますがご報告申し上げます。幸い2013年度は順調に終了することが出来ましたことを、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

◆ 移動サービス実施回数（トリップ数）について

2006年度	770回	2010年度	2244回
2007年度	830回	2011年度	2774回
2008年度	1747回	2012年度	3115回
2009年度	1230回	2013年度	3883回

※1：08年3月「友愛の灯協会」が移動サービス事業から撤退。

※2：09年度は2団体の新規参入があり、参入団体との料金体系の違いから、当団体の運行実績が減少。

※3：10年4月から料金体系を時間制から距離制に変更。

◆ 利用会員数の推移

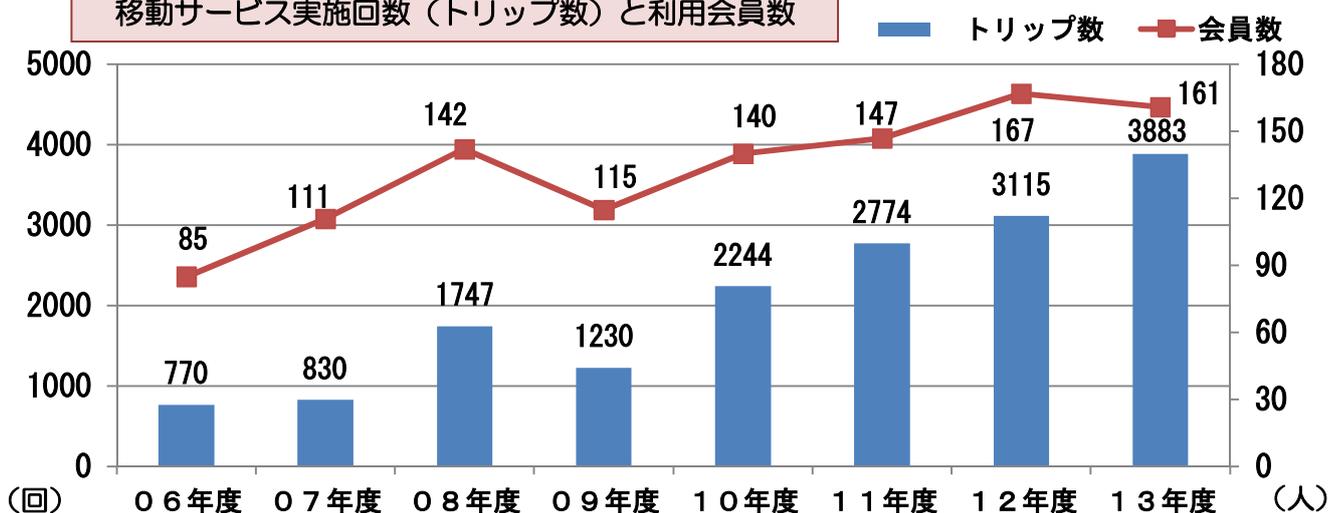
2006年度	85人	2010年度	140人
2007年度	111人	2011年度	147人
2008年度	142人	2012年度	167人
2009年度	115人	2013年度	161人



◆ その他

2013年度の利用会員数は前年度末比6名減少していますが、内容を見ますと個人の新規会員は34名増加、31名減少（主に施設入所・入院・死亡）となっており、個人利用会員は3名増加しました。トリップ数は順調に増えています。運転協力員からの持ち込車両台数は前年度末の11台から14台に増車しました。また移動サービスの対価収入は本年度は5,773千円であり、前年度比23%増加しました。前年度から開始した「ちょこっとサポートNEKOの手」の実施件数は87件であり、サポートの内容はリハビリ補助と通院介助で全体の80%を占めています。

移動サービス実施回数（トリップ数）と利用会員数

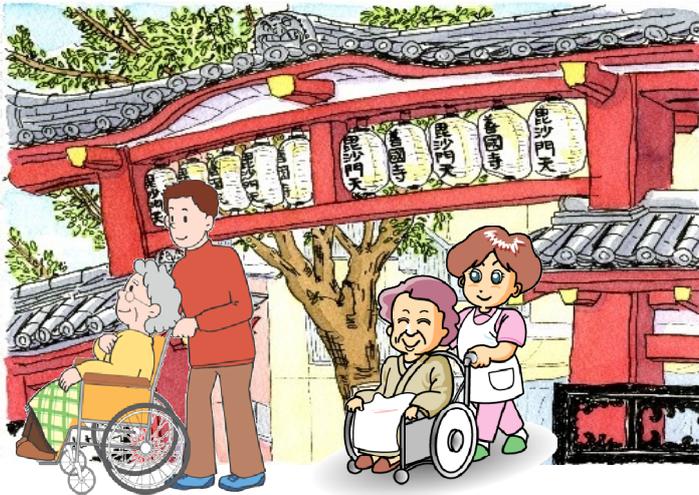




「オープンリビング けやきの見える家」事業を支援します

明年4月からの介護保険制度の改定により、要支援1、2の方へのサービスの一部が制度から外れ、今後は各自治体の施策の中に位置づけられることとなります。この変化に伴い、地域包括ケアセンター（ケア24）を軸としたわたくしたち地域住民の互助の力がますます必要とされる状況となります。このような中、今般、西荻北と善福寺地域の住民の方々が中心となり、ケア24善福寺と協働し、西荻北の個人住宅を拠点とする「オープンリビング けやきの見える家」を開設することとなりました。この計画の内容は、高齢者や障がい者を対象とした居場所（サロン）をつくるほか、サロン運営などのための講座を開催しケア者の育成を行うこと、また要支援者を地域ぐるみで支援する様々な社会資源をつなげることをも目標としており、幅広い地域包括ケアシステムの一翼を担う計画となっています。おでかけサービス杉並では、この計画に賛同し、活動を地域住民の方々と共に進めていくことを決め、計画遂行に必要な資金を区の長寿応援ファンドに仰ぐこととし、幸い今般助成を得ることができました。このような住民主体のプログラムが確実に機能し、わたくしたちの住む地域の力がより強いものになっていくことをめざしてまいります。

今年もやります！ おでかけ企画 神楽坂



是非、楽しいおでかけもしていただきたい！

そんな思いから、昨年神楽坂で行われた「まち飛びフェスタ」に5家族の方々をお連れしました。

ドアtoドアの送迎サービスで、昼食をゆっくりいただいた後、ボランティアの方たちと一緒に現地のガイドの方に古い歴史と文化の街・神楽坂を案内していただきました。お土産を買ったりお話をしたり、ご家族も楽しまれたようです。今年は11月2日（日）に実施します。次号の「おでかけだより」で参加者を募集しますので、どうぞ楽しみにお待ちください！

あちこちで紫陽花がきれいに咲いています。個人的には梅雨のシトシト感は嫌いではないのですが、今年は突然の激しい雨や雷で、利用者・ドライバーどちらにもつらい、移動サービス泣かせの空模様が続いています。そんな時、予定の運行時間が遅れることもあるかもしれませんが、安全第一で運行したいと思いますのでご了承ください。さて、この度、「子育て応援券」（親と地域の子育て力を高め、子どもが健やかに育ち、子育てを共に支える地域づくりをめざして実施している杉並区独自の事業）が使えるようになりました。おでかけサービスを利用される方は高齢の方がほとんどですが、5月に入って障がいのある未就学齢のお子さんが、続けて2名会員登録されたことをきっかけに、区にサービス提供事業者の申請をしました。「子育て応援券」が使える方は限られますが、会費以外の利用料をこの券で支払うことができますので、是非ご活用ください。

コーディネーター
つうしん



コーディネーター 野口 恭子